

3年ぶりのBAMBAパーティー

飲んで、食べて、踊って…

世代を超え約200人集う

東京

関東在住の県北出身者でつくる宮崎県北高校関東同窓会連合会「BAMBA（ばんば）会」は7月14日、東京文京区の小川テラスで第4回BAMBAパーティーを3年ぶりに開催しました。1ポスター・広報担当の中村博代さん・延岡西高校10回卒）



第4回BAMBA会の実行委員会の皆さん

故郷の食はんば踊り、単軌の「座・ガモール神の国から」は県北の特産へて、踊り」をテーマに開催。実行委員会水田敏之代表世話・岡東高校卒）による「アサヒ」や「フェイス」などを活用した呼ぶ、各高校同窓会約200人が集まりました。

会場には宮崎から届いた酢や酒類がずらり。会や着物の参加者も「あはれ」虎彦の破頭（まんじゅう）やあじやな餅が並び、

「飲んで」のコーナーでは、宮崎の酒蔵から協賛いただいた焼酎、本酒、ビールなどが料理の数々にあちこちから「おいしい」の声が聞かれました。

「踊って」のコーナーでは、延岡観光協会が「シメツメ」のコーナーでは、シカ肉や、シシ肉の調理やチキン南蛮、シシエ料理やチキン南蛮、天婦ろ、校舞、パンチのカルパッチョ、釜揚げしらす、シタ巻、キシタと手羽のうま煮、唐人干し、あびん、ま煮、唐干し、あびん、のほか、デザートも納



約200人が来場し、3年ぶりの再会を喜んだ



税の紹介をスクリーンに映し、それに合わせて高千穂町の甲斐宗之町長が横笛を演奏、神高千穂大使でクラフジャズバンド「JAZZBERLOOP（ジャズバールプ）」のトランペッター長友誠さん（同町出身）の「刈り切唄」のソロ演奏もありました。延岡市、日向市、門川町、高千穂町のふるさと納税返礼品が当たる抽選会もあり、盛り上がりました。

最後に延岡西高校OBで万歳のレジェンド、上田耕市さん（虎彦社長）の指導で万歳三唱、少ない人数での会の開催準備は大変でしたが、来場していただいた方々から「楽しかった」「来て良かった」「また開催してください」との声が多く聞かれました。

BAMBA会は、「宮崎県北から発信される情報の受け皿としての機能」「関東から故郷への情報発信媒体にもなる組織」を目的とし、高校の垣根を越えた関東在住の宮崎県北出身者つなぐが元高千穂北のハイ役になることを目指しています。今回のパーティー開催で県北の各自治体と地元企業に少しでも貢献できたいと願っています。

県北を愛する方々などなたでも参加できます。パーティーもボランティア有志の手作りイベントで、お手伝いしていただける方を募っています。お問い合わせは、s/bamba@bamba.jp



ばんば踊りを踊る来場者



宮崎県内の協賛企業から届いた焼酎やピザとシカやイノシシの肉を使う料理(左)



ふるさと納税をPRする延岡観光協会の代表者